



星野代表ごあいさつ

地域包括ケア体制を全国規模で構築するため厚生労働省が募集した「在宅医療連携拠点事業」に応募し、札幌市では西岡病院、手稲家庭医療クリニックとともに今年度採択されました。

この事業の目的は、在宅医療を必要とする人が安心して医療サービスを受けることができるよう、地域での多職種協働による包括的かつ継

続的な在宅医療体制を構築することにあります。

医療法人社団豊生会東苗穂病院は、当協議会の事務局として、地域における多職種連携体制の前提となる医療・福祉従事者の「顔の見える関係」を構築し、在宅医療の推進を目指してまいりますので、多くの関係者の皆様のご理解、ご支援、ご活用をよろしくお願いいたします。



第1回合同会議を開催しました

第1回目の合同会議が、7月27日(金曜日)18:30より札幌まちづくりセンター(札幌市東区東苗穂7条2丁目)において開催され、120名の皆様にお集り頂きました。



会の愛称を決めました

東区役所の承認をいただき、多くの東区民から親しまれている「タッピー」を愛称として使うことになりました。



活動区域

拠点事業の活動区域は、札幌市東区第2地域包括支援センターの担当圏域とし、東苗穂・札幌・伏古本町・元町地域としました。



代表・副代表を決めました

- 代表：星野 豊(東苗穂病院 院長)
- 副代表：三木 敏嗣(三木ファミリークリニック 院長)
兼重 裕(東苗穂たんぽぽクリニック 院長)



主な事業内容

- ①地域の医療・介護関係者による協議の場を定期的に開催します。
- ②在宅医療の連携上の課題と解決策を抽出します。
 - ワーキンググループを作り解決策を検討します。
- ③多職種連携を推進
 - 区域内の病院・診療所、介護施設、介護サービス情報を「タッピーマップ」に集約して、一目で分かるように掲載することにより、連携を推進します。
- ④在宅医療に関する普及啓発を進めます。
 - 地域の住民向けの研修会などを行います。
- ⑤災害発生時に備えた対応策を検討します。

厚生労働省報告



7月11日(水曜日)厚生労働省2階大講堂で「在宅医療連携拠点事業」の説明会が開催され、全国105か所の拠点事業所から420名を超える関係者が集結する盛大な会となった。当会からは、三木副代表(三木ファミリークリニック)を含め4名が出席した。

国立長寿医療センターからは、超高齢者社会へ対応するためには「戦う医療」から「支える医療」へのパラダイムシフトが不可欠であるという挨拶があった。

今回の説明会をへて、合同会議では三木副代表が『今回の事業のキーワードは「役割の可視化」、「情報の共有化」、「24時間体制」である。そのためには「顔の分かる関係」→「顔の向こう側が見える関係」→「顔を通り超えて信頼できる関係」をつくることが重要である。東区においては「東区在宅療養支援協議会」と「タッピーねっと」がチームワークを組んで達成していこう』と呼びかけた。



基調講演 「医療連携と地域包括ケア」

NPO法人シーズネット 奥田副理事長より「医療連携と地域包括ケア」と題して基調講演をいただきました。

札幌市が平成22年に行った市民満足度調査によると、医療・福祉についての重要度はトップ、満足度は最下位という結果であった。2015年までに団塊の世代が65歳に達し、支える側から支えられる側になる。改革は待たなしの状況である。これに対応するためには、地域包括ケアが不可欠であり、人と金をクリアする苦肉の策と言える。つまり「住まい包括ケア」である。2030年の看取りの場所の将来推計では、医療機関の病床数の増加はなく、看取りの場所は病院から在宅高

齢者向け施設に移行し、その数は全体の28%になると予測されている。

今後、医療連携と地域包括ケアを進めて行くためには、「在宅医療連携拠点事業」は非常に良い事業であるとする。拠点事業とタイアップして、①重度のケア、②最後まで看とる、③在宅従事者の負担軽減、④住民の医療・福祉に対する満足度のアップ、⑤顔の見える関係を構築していくことが重要です。



アンケート結果のご報告

第1回合同会議では、アンケートにご協力いただきありがとうございました。52名の方から回答をいただきました(回収率46.4%)。回答をいただいた方の機関の内訳は、病院・医院・クリニック・薬局など医療系48.1%、居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションなどの在宅系32.7%、施設系が13.5%でした。

【合同会議の感想】

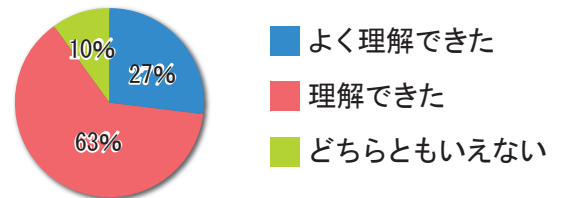
- 多くの機関、職種の方とお会いできてよかった
- 多職種の方と意見交換できてよかった
- これからに向けて目的を一つにしていける会議が楽しかった
- もう少しイメージがわく具体的なお話を聞きたかった

【今後の活動に期待すること】

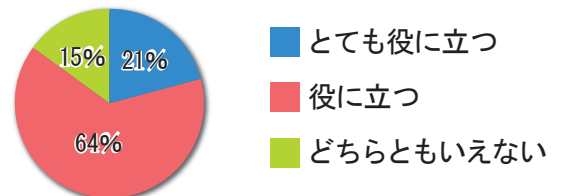
- 問題解決の顔の見える協議の場を定期的に設けてほしい
- タッピーまっぷの完成期待している
- 地域包括ケアシステムの勉強会をしてほしい
- 勉強会の内容の充実を期待する
- 地域住民に役に立てる会になるとよい
- 情報発信を期待する

などのご意見をいただきました。
今後の活動も参考とさせていただきます。ありがとうございました。

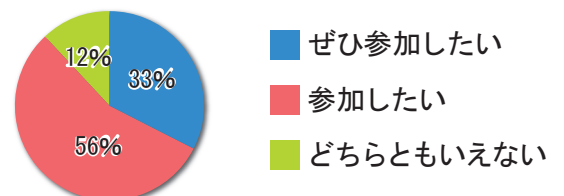
質問1 協議会の主旨は理解できましたか？



質問2 協議会の活動は今後の業務に役に立ちますか？



質問3 今後も参加したいと思いますか？



次回合同会議のご案内

◎札幌市東部地区在宅医療連携協議会開催(予定)

開催日時: 10月11日(木) 会場: 伏古記念会館

機関登録を受け付けています。ご希望の方は下記まで、お問い合わせ下さい

メーリングリストのお申し込みは、info@tappynet.jpまで

事務局

タッピーねっと(札幌市東区東部地区在宅医療連携協議会)事務局

住所 札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18(東苗穂病院内) tel 011-783-7777 / fax 011-789-6733 担当: 葛西